

関西電力の水素社会実現に向けた取組み

関西電力株式会社
水素事業戦略室

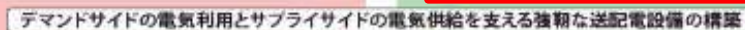
2026年3月27日



(1) 関西電力の水素事業戦略

(2) 関西電力の水素の取組み

- ### ③水素社会への挑戦



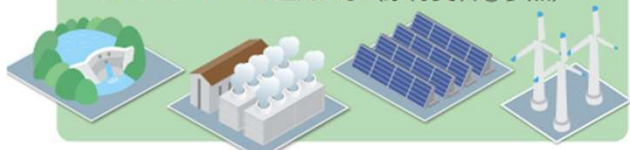
The Kansai Electric Power Co., Inc.

- 当社では、多様化する社会ニーズも踏まえて再エネを最大限導入・主力電源化し、出力安定性に優れエネルギー密度が高い原子力エネルギーを安全最優先を前提として最大限活用し、再エネ大量導入に必要な調整力等に優れた火力のゼロカーボン化に取り組む。

2050年に向けた取組み

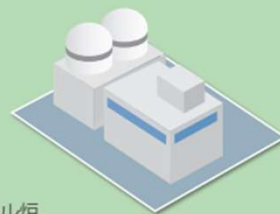
〈再エネ・送配電系統〉

- ・国内外での洋上風力をはじめとした再エネの最大限導入
- ・水力電源の最大活用、設備のリフレッシュと新規開発による発電電力量の最大化
- ・AI・IoT技術等によるDXを用いた系統制御技術の高度化、電力ネットワークの広域的な運用、分散型グリッドの適用等 (添付資料①参照)



〈原子力〉

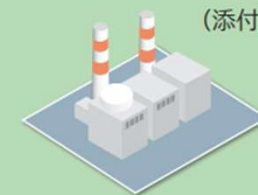
- ・安全最優先を前提とした稼働率の改善に向けた運用の高度化
- ・次世代軽水炉、高温ガス炉やSMR^{※1}等を視野に入れた新增設・リブレースの実現
- ・水素製造への原子力エネルギーの活用



※1. SMR: 小型モジュール炉

〈火力〉

- ・ゼロカーボン燃料(水素・アンモニア等)を使用した発電への移行
- ・CCUS技術の適用
- ・上記取組みを集積・相互連携し、水素等の利活用に向けた「ゼロカーボン技術拠点化」の推進



(添付資料②参照)

石炭火力は、当該国の政策に適合し、かつゼロカーボン化に貢献できる設備を除き、今後、新規計画を行いません。

- 当社は「ゼロカーボンロードマップ」を制定（24年4月改定）。火力ゼロカーボン燃料としての水素・アンモニアの混焼／専焼化の取組みや、水素等の調達・販売に向けた検討を定めている。



(1) 関西電力の水素事業戦略

(2) **関西電力の水素の取組み**